**7月8日　株式会社レアジョブ　代表取締役　加藤　智久　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

加藤さんの話を聞いて思ったことは過去の自分の経験を冷静に分析しているということです。Livedoor元社長の堀江氏の言葉“同じ失敗をしないように議論しよう”という言葉を実行しているようでした。休学してインターンに行き、学ばなければいけないことを認識して復学してしっかり学ぶというのは一般的な道とはいえないけれど、自分に何が必要かを知るということは大切なことだと思いました。企業で大切なのは新しいアイデアはもちろんですが、会計やマネジメントなどの経営の基本を学び、数値目標を立てて行動していくという現実的な思考を持ち合わせていないと成功できないのだと考えました。撤退期限を決める、一か月のサービス停止などは勇気が必要ですが、よりよいサービスを目指して取り入れている姿勢からこの事業への本気さが伝わってきました。（経営・会計情報1年）

以前から高校の英語の先生に勧められていたのでレアジョブを知っていました。

レアジョブを調べたときに価格の安さに驚いたことを記憶しています。フィリピン人を講師として採用しているのは安い理由として含まれると思っていましたが、１つはフィリピン人に雇用を与えるという社会的な理由、１つはフィリピン人の能力を見込んでという理由であると聞いてサービスの利用者以外にもいい結果をもたらせようとしている態度がすごいと思いました。講演ありがとうございました。(経営学部会計・情報学科、１年)

本日の講義をお聴きして、加藤さんの学生以前・学生中・学生以後のプランが明確に決められており、志の高さに感銘を受けた。大学に入る前から「大学６年計画」を立て、学生中は常に「マネジメント」や「企業」という物にアンテナを張り情報を集め、卒業後は身につけた知識を実践に移し、実務的な経験を積み成功した加藤さんの姿は僕の理想の姿だと感じた。フィリピンで人材確保のために様々な町で様々な人に話を聞いている自分の状態を「ドラゴンクエストみたい」と加藤さんがおっしゃっていた事が印象に残った。困難に出会っても、ときにはゲーム感覚で捉えるユーモア、ポジティブな考え方が必要なのだなと感じた。（経営学部　国際経営学科　１年）

英会話というものはやはり会話、それも直接の会話が大切だと思う。スカイプならほぼ同時にスカイプを通じて話すことができて、なおかつお金がかからない画期的なアイデアだと思いました。ある意味既存の商品材料を使って新しい商品サービスを展開するという、先週の馬事村の村長さんの発想と似ていると感じた。（経営学部　経営システム学科１年）

まず、大学を六か年で計画していたことに驚きました。大学には4年以上いられると知っていても、なかなか最初からそのつもりでいく勇気はありません。とても行動力のある方だなと思いました。講師を集めるところから始まり、うまくいくかどうかよく分からないことを進めていくことは、とても勇気のいることだなと思います。日本とは違う文化をもつフィリピンのマネジメントもとても苦労されたようですね。それでも、それらを乗り越えて事業を始めたことは、本当にすごいことだなと思いました。Chances for everyone, everythingというビジョンは、人のことを思ったとても良いビジョンだと思います。これからもぜひ続けていただきたいです。(経営学部経営学科１年)

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

　　自動車教習に行けば免許が取れるという感覚が取れるという感覚で、レアジョブを使えば英語を話せるようになる。という言葉がとても心強いなと思いました。だから私もレアジョブを使ってみたいです。英語をしゃべれるようになりたいけどなかなかお金も時間も勇気もない私にとってはぴったりだなと思いました。また私も加藤さんのように計画目標ビジョンを持て大学生活を送りたいと思います。（経営１年）

　加藤さんは起業する時に撤退期間や予算、講師をフィリピン大学の学生に限定することなどを決めたとおっしゃっていました。起業に限らずに、何か新しいことをはじめる際に「これだけは守る」ということをいくつか決めるのは、自分の中でけじめをつけるためにも大切なことだなと思いました。 (経営学部・国際経営学科1年)

授業スタッフの感想１

　今回の加藤さんの話の中のキーワードは“原体験”であると思いました。この“原体験”が重要であるということは、今回だけでなく、以前にたびたび出ていたものです。やはり起業をするための力を養うにはこの“原体験”が重要であり、これが体験できるインターンシップはとても貴重な体験であると分かりました。実際に、私以外にもそう感じた生徒は多かったようでした。

授業スタッフの感想２

今回は内容のないアンケートばかりだった。この授業に対する生徒の意識の差が激しくなってきている。この授業をただの二単位と考えるか、人生のプランニングのための大きな糧とするかは個人意識次第だと思う。ベンチャーの社長が毎週講義に来てくれる大学は他にはそんなにはないと思う。他の教授には申し訳ないけれど、企業家の生のお話を聞くのが一番勉強になる。自分はこの授業を大切にしよう。